

呪術的 思考 マジカル シンバル キーンダ

2021年12月15日(水)

19:00 開演 (18:30 開場)

愛知県芸術劇場・小ホール



アンドレ・ジョリヴェ 《リノスの歌》(ピアノ伴奏版)
André Jolivet | *Chant de Linos pour flûte et piano* (1944)

アンドレ・ジョリヴェ 《リノスの歌》(アンサンブル版)
André Jolivet | *Chant de Linos* (1944, fl, vln, vla, vc, hp)

クロード・ヴィヴィエ 《パラミラボ》
Claude Vivier | *Paramirabo* (1978, fl, vln, vc, pno)

ティエリー・エスケシュ 《暗闇の歌》
Thierry Escaich | *Chant des Ténèbres* (1992, s-sax, pno)

フレドリック・ヘーデリーン 《Akt》
Fredrik Hedelin | *Akt* (2003, vln, vla, vc)

山本裕之 《境界》(世界初演)
Hiroyuki Yamamoto | *Boundary* (2021 / WP, s-sax, b-cl)

—— エドガー・ヴァレーズの唯一の作曲の弟子、アンドレ・ジョリヴェ (1905-1974) のかの有名な『リノスの歌』のアンサンブル版をあなたは聴いたことがあるか? ——

私がまだ大学1年生だった頃に聴いたA. ジョリヴェの『ピアノコンチェルト』(赤道コンチェルトと呼ばれることも多い)の持つ強烈なリズム旋律に、脳天をガツンとぶん殴られたような強い衝撃を受けたことを、今でも昨日のこのように覚えている。

彼がL. v. ベートーヴェンに生涯を通じて敬意を払っていたということも、私にジョリヴェへの親近感を生み出し、すぐに大いなる尊敬の念にシフトした。

私はいつかジョリヴェの作品を取り上げたコンサートを企画したいと思いつけていたが、今日に至るまでの、これほどの歳月を要することになるとは想像もしなかった。

新型コロナウイルスの影響により多くの文化活動が中止、もしくは縮小せざるを得ない状況である。名古屋で現代クラシック音楽を普及させようと結成されたわれらが『音楽クラコ座』も、残念ながら定期公演を一層キャンセルすることを余儀なくされた。

本公演のプログラムとしては、上記のジョリヴェの2つのことなる編成による『リノスの歌』以外に音楽クラコ座の作曲家、山本裕之氏による新作がある。山本氏の作風は、私の知る限り、呪術的なものから程遠いとの思いがあったので、山本氏がどのように呪術からインスピレーションを受けて作品を産み出すのか今から非常に楽しみにしている。残る演奏予定のプログラムは、東洋の影響を存分に受けた、カナダのC. ヴィヴィエ、スウェーデンのエレクトロニクス音楽で名を馳せたF. ヘーデリーン、フランスの即興音楽を得意とするT. エスケシュ(ちなみに彼はA. ジョリヴェ賞を受賞している)など、全て何かしら呪術と関係をもつ作品であり、なかなか充実した公演になると自信を持っている。

『呪術』は辞典に「神や精霊などの超自然的力や神秘的な力に働きかけ、種々の願望をかなえようとする行為、および信念」と書かれている。私は今、大きな困難の中にある世界が、この危機を乗り越えることができるよう、音楽を通して呪術が使えたらと切に願うと共に、音楽が人の心にもたらす感動は一時的なものではなく自分を含め聴き手の人生にも大きな影響を与えるものだと思っている。

われわれの新たな挑戦が、皆さんの胸に残るようなものにてきたらこの上なく幸せてある。(音楽クラコ座代表・小櫻秀樹)



入場料

全席自由(注) 一般 3,000 円、学生 1,500 円 (前売・当日とも)

購入・ご予約

クラコ座 web ▶ <http://qulacoza.net/>

Peatix ▶ <https://qulacoza10.peatix.com/>

メール予約 ▶ info@qulacoza.net

プレイガイド ▶ 愛知芸術文化センタープレイガイド 052-972-0430



クラコ座 web
公式サイトからのご予約。常に新しい情報が更新されます。



Peatix
キャッシュレスで事前決済が可能。当日は携帯の画面を受付に提示するだけ。

助成

公益財団法人 朝日新聞文化財団、ARTS for the future!

協賛

村松楽器販売株式会社

主催・お問合せ

音楽クラコ座 info@qulacoza.net 090-9843-8393 (山本) / ツイッター @qulacoza

※未就学児の入場はご遠慮ください。



本公演は、新型コロナウイルス感染症対策を行います。客席の間隔を空け、会場の規定の換気を行い、受付では検温等の対応を実施致します。当日、発熱や咳、倦怠感など体調がすぐれない場合は来場をご遠慮ください (チケット購入済の場合は返金致します)。

(注) 座席は当日受付にて選択いただけます。



名古屋市東区東桜一丁目13番2号
▶ 地下鉄東山線または名城線「栄」駅下車、徒歩3分
▶ 名鉄瀬戸線「栄町」駅下車、徒歩2分
(ともにオアシス21から地下連絡通路または2F連絡橋経由)

賛助出演

山地梨保 (ハープ)

大阪府出身。15歳よりハープを始める。大阪桐蔭高等学校を経て、愛知県立芸術大学音楽学部器楽専攻弦楽器コース首席卒業、桑原賞受賞。同大学大学院博士前期課程修了、長久手市長賞受賞。学内選抜オーディションにより、第11回室内楽の夕べ、第45回卒業演奏会出演。大阪国際音楽コンクールにて入賞。ハープ新人デビューコンサート2014に出演。アジア・ユース・オーケストラ 2016に参加。ソリストとして愛知室内オーケストラ、シンフォニエッタ静岡と共演。平成25年度(財)明治安田クオリティーオブライフ文化財団奨励学生、平成27年度(財)北野生涯教育振興会音楽奨励学生。ハープを岡山晴美、渡邊萬里、木村茉莉の各氏に師事。現在、関西を中心にオーケストラ、室内楽、ソロなど幅広く演奏活動を行っている。シンフォニエッタ静岡ハープ奏者。



西尾結花 (ヴィオラ)

名古屋市長尾里高等学校音楽科、愛知県立芸術大学音楽学部卒業。愛知県立芸術大学在学中、学内選抜により室内楽の夕べ、第47回卒業演奏会出演。2017年ウクライナ政府の招聘により独立25周年記念国際文化交流事業で3都市で演奏。これまでにヴァイオリンを長友野慈呼、福本泰之、林茂子、D. ノーラン、辻井淳の各氏に師事。室内楽を福本泰之、百武由紀、桐山健志、花崎薫、久保田巧の各氏に師事。室内楽やオーケストラではヴィオラ奏者としても活動し、現在は東海地方を中心に演奏活動を行う傍ら後進の指導にあたる。山田弦楽四重奏団、Trio Enchant メンバー。春日井市若手音楽家支援事業第3期登録アーティスト。



音楽クラコ座

名古屋を拠点に、東海地域で唯一現代音楽を専門に演奏する団体として、2013年に活動を開始して以来、これまでに7回の自主公演を行うほか、ゲスト出演や招聘公演などで現代の新しい音楽を積極的に演奏している。現在、演奏家と作曲家による8名のメンバーから成り、硬派な企画とプログラミングが注目を集めている。これまでに「S.ジェルヴァゾーニとその周辺」(第2回公演)、「トーカイ・サクキョクカ!」(第3回公演)、「カタロニアの風を詠む」(第4回公演)、「ニュージーランド・ポートレイツ」(第5回公演)「アメリカ音楽電気の歴史旅行」(第6回公演・あいちトリエンナーレ2016舞台芸術公募プログラム参加)などを開催、東海地域のみならず国内でも滅多に聴く機会のない優れた作品を紹介している。2018,19年は、日本では極めて珍しいトルコの作曲家を特集した「トルコ・プロジェクト」を開催し、好評を博した。

音楽クラコ座 (Musica QuLacoza) <http://qulacoza.net/>

丹下聡子(フルート) / 葛島涼子(クラリネット) / 磯貝充希(サクソフォン) / 二川理嘉(ヴァイオリン) / 江頭摩耶(ヴァイオリン&ヴィオラ) * / 野村友紀(チェロ) / 内本久美(ピアノ) / 小櫻秀樹(作曲・代表) / 山本裕之(作曲)

*: 本公演には出演しません

ひたすら、ハンドメイド。
つねに最高を求める技と心、
そして、フルートへの愛を込めて、
ムラマツは一徹です。

The Muramatsu
flute
since 1923

muramatsu
総発売元
村松楽器販売株式会社
<http://www.muramatsufute.com>